※ご利用の環境によっては動作しない場合があります。

※日付は、半角で「19/6/10」「19/10/1」などと入力してください。
※ソフトウェアによってはカレンダーで日付を選択できます(acrobat readerなど)。

弁護士情報以外消去(全ページ)

書式4-B④
(R1.5.1版)

旅費等請求書(兼遠距離接見等加算報酬請求書)①(弁護・付添・被害者参加共通)

㊟宿泊料の請求及び特殊事情の報告については、旅費等請求書②<宿泊料・特殊事情>へ記載。

事件番号: 年( )第 号

提出日

弁護士 (登録番号)

【 枚中 枚目】

事務所住所 *自宅住所

㊟自宅発着の移動がある場合は、自宅住所を記載し、出発地(帰着地)の自宅欄にチェック(記載とチェックの両方がない場合は事務所発着とみなす)。

★実費を請求しない場合は、※マークのみ記載(直線距離に応じた算定額)。
★実費を請求する場合は、※マーク以外の各欄も記載。**領収証を添付。**
★1回の移動の中に本件以外の移動を兼ねる場合、目的番号欄(別件)の番号、「按分」欄の当該事件の事件番号、目的地及び被疑者等の氏名を記載。
★燃料代を請求する場合は、下記【燃料代の請求】の該当項目にチェック(チェックがない場合、燃料代の請求はないものとみなす)。

★私選・私用の場合は目的地の後に(私)と記載。

※全2ページです。印刷時には必要なページのみ印刷してください。
※ドロップダウンの選択肢が見えにくい場合は、ページを拡大してください。

出張の目的(8kmを超える)	遠距離接見(面会)、遠距離打合せ・協議等の目的(25km以上)	
①公判(審判)期日出頭 【被告人・付添・被害者】 ②整理手続期日出頭【被告人】 ③第1回公判期日前の証人尋問、 証拠保全期日出頭【被疑者・被告人】 ④勾留理由開示期日出頭【被疑者・被告人】 ⑤裁判員選任手続期日出頭【被告人】 ⑥その他の手続期日出頭【被告人・付添】 ㊟付添事件の裁判官、家裁調査官との 打合せは、⑥と記載。	⑦接見・面会【被疑者・被告人・付添】 ⑧被害者参加人との打合せ・協議等【被害者】 ⑨検察官との打合せ・協議等【被害者】 ⑩記録の閲覧・謄写【被告人・付添・被害者】 ・・・履行補助者の場合「⑩A」 ⑪準抗告の申立て【被疑者】 ⑫示談交渉【被疑者・被告人・付添】 ⑬事件(犯行・非行)現場の確認 【被疑者・被告人・付添・被害者】	⑭目撃者、証人予定者、事件関係者、親族、 身元引受人等との打合せ 【被疑者・被告人・付添】 ⑮目撃者(関係者)からの事情聴取【被害者】 ⑯保釈保証金の納付【被告人】(保釈請求は対象外) ・・・履行補助者の場合「⑯A」 ⑰鑑別技官との打合せ【付添】 ⑱少年の保護者、学校関係者、雇用主、 補導委託先関係者等との打合せ【付添】 ⑲その他【被害者】

※【被疑者】…被疑者国選事件 【被告人】…被告人国選事件 【付添】…国選付添事件 【被害者】…国選被害者参加事件

法テラス使用欄

日付 ※			移動手段(選択又は記入)	新幹線・有料特急	経路(車と公共交通機関の併用は、車の利用区間を記載)	金額	左記日付分消去1
出発地	※ □事務所 □自宅	※目的番号		□	➡	円	
目的地1	※場所(名称。個人宅は住所。以下同じ)	□本件 番		□	➡	円	経路距離 km / 燃料代 円
		□別件 番		□	➡	円	
目的地2	※場所	□本件 番		□	➡	円	基準燃費 / 請求額
		□別件 番		□	➡	円	
目的地3	※場所	□本件 番	□往復路同一の経路・金額を請求する		合 計	0 円	※金額欄は半角数字で入力。 ※合計欄に自動計算で合計額が表示。 ※未入力は「0」。
		□別件 番	□ 日の経路に同じ				
帰着地	※ □事務所 □自宅		有料道路利用(自動車移動の場合)	□ETC払い □現金払い(金額は疎明資料の通り) ※疎明資料(領収書・ETC証明書等)を添付。			交通費 円 / 按分 円
按分	他の国選事件(事件の種別) □弁護・付添 □被害者参加	事件番号 年( )第 号	当事者名		目的地 □1 □2 □3		遠・加 円 / 按分 円
		事件番号 年( )第 号	当事者名		目的地 □1 □2 □3		

日付 ※			移動手段(選択又は記入)	新幹線・有料特急	経路(車と公共交通機関の併用は、車の利用区間を記載)	金額	左記日付分消去2
出発地	※ □事務所 □自宅	※目的番号		□	➡	円	
目的地1	※場所(名称。個人宅は住所。以下同じ)	□本件 番		□	➡	円	経路距離 km / 燃料代 円
		□別件 番		□	➡	円	
目的地2	※場所	□本件 番		□	➡	円	基準燃費 / 請求額
		□別件 番		□	➡	円	
目的地3	※場所	□本件 番	□往復路同一の経路・金額を請求する		合 計	0 円	※金額欄は半角数字で入力。 ※合計欄に自動計算で合計額が表示。 ※未入力は「0」。
		□別件 番	□ 日の経路に同じ				
帰着地	※ □事務所 □自宅		有料道路利用(自動車移動の場合)	□ETC払い □現金払い(金額は疎明資料の通り) ※疎明資料(領収書・ETC証明書等)を添付。			交通費 円 / 按分 円
按分	他の国選事件(事件の種別) □弁護・付添 □被害者参加	事件番号 年( )第 号	当事者名		目的地 □1 □2 □3		遠・加 円 / 按分 円
		事件番号 年( )第 号	当事者名		目的地 □1 □2 □3		

燃料代の請求(自動車移動の場合)	□ガソリン □軽油

2ページ目

旅費等請求書（兼遠距離接見等加算報酬請求書）①〈継続用紙〉

書式4-B⑤
（R1.5.1版）

事件番号：　　年（　　）第　　号　　【　　枚中　　枚目】

出張の目的(8kmを超える)	遠距離接見（面会）、遠距離打合せ・協議等の目的(25km以上)	
①公判（審判）期日出頭【被告人・付添・被害者】 ②整理手続期日出頭【被告人】 ③第1回公判期日前の証人尋問、証拠保全期日出頭【被疑者・被告人】 ④勾留理由開示期日出頭【被疑者・被告人】 ⑤裁判員選任手続期日出頭【被告人】 ⑥その他の手続期日出頭【被告人・付添】 ㊟付添事件の裁判官、家裁調査官との打合せは、⑥と記載。	⑦接見・面会【被疑者・被告人・付添】 ⑧被害者参加人との打合せ・協議等【被害者】 ⑨検察官との打合せ・協議等【被害者】 ⑩記録の閲覧・謄写【被告人・付添・被害者】 ・・・履行補助者の場合「⑩A」 ⑪準抗告の申立て【被疑者】 ⑫示談交渉【被疑者・被告人・付添】 ⑬事件（犯行・非行）現場の確認【被疑者・被告人・付添・被害者】	⑭目撃者、証人予定者、事件関係者、親族、身元引受人等との打合せ【被疑者・被告人・付添】 ⑮目撃者（関係者）からの事情聴取【被害者】 ⑯保釈保証金の納付【被告人】（保釈請求は対象外） ・・・履行補助者の場合「⑯A」 ⑰鑑別技官との打合せ【付添】 ⑱少年の保護者、学校関係者、雇用主、補導委託先関係者等との打合せ【付添】 ⑲その他【被害者】

※【被疑者】…被疑者国選事件　【被告人】…被告人国選事件　【付添】…国選付添事件　【被害者】…国選被害者参加事件

日付 ※			移動手段（選択又は記入）	新幹線・有料特急	経路（車と公共交通機関の併用は、車の利用区間を記載）	金額	左記日付分消去3
出発地	※ □事務所 □自宅	※目的番号		□	➡	円	
目的地1	※場所（名称。個人宅は住所。以下同じ）	□本件 番		□	➡	円	経路距離 km / 燃料代 円
		□別件 番		□	➡	円	
目的地2	※場所	□本件 番		□	➡	円	基準燃費 / 請求額
		□別件 番		□	➡	円	※金額欄は半角数字で入力。
目的地3	※場所	□本件 番	□往復路同一の経路・金額を請求する		合　計	0 円	※合計欄に自動計算で合計額が表示。
		□別件 番	□ 日の経路に同じ				※未入力は「0」。
帰着地	※ □事務所 □自宅		有料道路利用（自動車移動の場合）	□ETC払い □現金払い（金額は疎明資料の通り） ※疎明資料（領収書・ETC証明書等）を添付。			交通費 / 按分 / 円 / 円
按分	他の国選事件（事件の種別） □弁護・付添 □被害者参加	事件番号 年（　）第　号	当事者名		目的地 □1 □2 □3		遠・加 / 按分 / 円 / 円
		事件番号 年（　）第　号	当事者名		目的地 □1 □2 □3		

日付 ※			移動手段（選択又は記入）	新幹線・有料特急	経路（車と公共交通機関の併用は、車の利用区間を記載）	金額	左記日付分消去4
出発地	※ □事務所 □自宅	※目的番号		□	➡	円	
目的地1	※場所（名称。個人宅は住所。以下同じ）	□本件 番		□	➡	円	経路距離 km / 燃料代 円
		□別件 番		□	➡	円	
目的地2	※場所	□本件 番		□	➡	円	基準燃費 / 請求額
		□別件 番		□	➡	円	※金額欄は半角数字で入力。
目的地3	※場所	□本件 番	□往復路同一の経路・金額を請求する		合　計	0 円	※合計欄に自動計算で合計額が表示。
		□別件 番	□ 日の経路に同じ				※未入力は「0」。
帰着地	※ □事務所 □自宅		有料道路利用（自動車移動の場合）	□ETC払い □現金払い（金額は疎明資料の通り） ※疎明資料（領収書・ETC証明書等）を添付。			交通費 / 按分 / 円 / 円
按分	他の国選事件（事件の種別） □弁護・付添 □被害者参加	事件番号 年（　）第　号	当事者名		目的地 □1 □2 □3		遠・加 / 按分 / 円 / 円
		事件番号 年（　）第　号	当事者名		目的地 □1 □2 □3		

日付 ※			移動手段（選択又は記入）	新幹線・有料特急	経路（車と公共交通機関の併用は、車の利用区間を記載）	金額	左記日付分消去5
出発地	※ □事務所 □自宅	※目的番号		□	➡	円	
目的地1	※場所（名称。個人宅は住所。以下同じ）	□本件 番		□	➡	円	経路距離 km / 燃料代 円
		□別件 番		□	➡	円	
目的地2	※場所	□本件 番		□	➡	円	基準燃費 / 請求額
		□別件 番		□	➡	円	※金額欄は半角数字で入力。
目的地3	※場所	□本件 番	□往復路同一の経路・金額を請求する		合　計	0 円	※合計欄に自動計算で合計額が表示。
		□別件 番	□ 日の経路に同じ				※未入力は「0」。
帰着地	※ □事務所 □自宅		有料道路利用（自動車移動の場合）	□ETC払い □現金払い（金額は疎明資料の通り） ※疎明資料（領収書・ETC証明書等）を添付。			交通費 / 按分 / 円 / 円
按分	他の国選事件（事件の種別） □弁護・付添 □被害者参加	事件番号 年（　）第　号	当事者名		目的地 □1 □2 □3		遠・加 / 按分 / 円 / 円
		事件番号 年（　）第　号	当事者名		目的地 □1 □2 □3		

燃料代の請求（自動車移動の場合）	□ガソリン □軽油